

みんなの 町議会

家族で育てる
神石牛!!

第52号

平成29年10月15日

■決算をチェック	30	4
■町政のここを聞く		11
■ありやあどうなったん? お試し住宅		19
■こんな活動しています 委員会報告		20

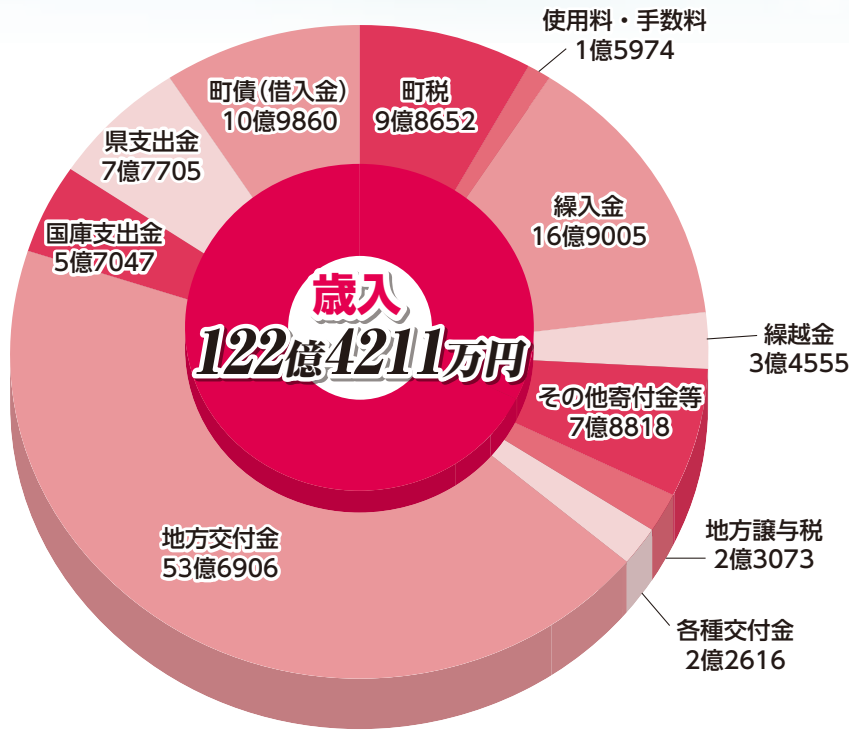
黒字決算 認定

一般会計 **122億4211万** 前年度比 **12%増**

9月
定例会

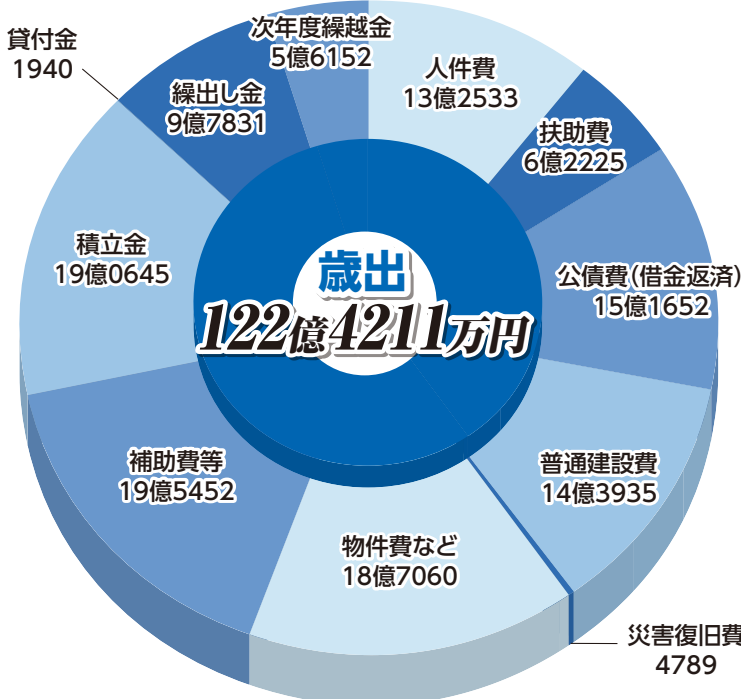
歳入

前年度比較で、額にして約13億1000万円、率にして12%の増加。主な要因として、繰入金・寄付金・県支出金が大
幅に増加。一方で地方交付税や町債など
が減少。



歳出

前年度比較で13・6%の増。トマト選
果場や豊松小学校整備などで増加。災害
復旧費や消費税などは減少。



9月定例会は、9月7日から25日まで開かれました。
平成28年度の全会計を決算認定し、平成29年度の補正予算を含め、
23議案を審議して、すべて原案通り可決しました。
一般質問では8人が町長・教育長に行政課題などについてたずねました。

実質公債費比率

8年連続 改善

実質公債費比率
1.2ポイントの改善

実質公債費比率 **7.0%**

平成20年度の21.9%をピークに8年連続改善された。

繰上げ償かんを行ったことなどから昨年より1.2ポイント改善した。

※実質公債費比率とは

自治体の収入に対する負債返済の割合を示すもの。18%以上だと新たな借金をするため国や県の許可が必要。25%以上だと借金を制限される。

四捨五入
単位：万円

	25年度	26年度	27年度	28年度
実質公債費比率	11.5%	10.1%	8.2%	7.0%
地方債現在高	135億8734	131億5078	130億5759	127億528
基金残高	86億2602	95億5369	107億3962	112億7902

平成28年度 各会計歳入歳出総括表

四捨五入
単位：万円

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額	繰越財源	差引残高
一 般 会 計		122億4211	116億8059	1873	5億4279
(うち繰越分)		2億4353	2億1174		3179
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	13億0826	12億1689		9137
	後 期 高 齢 者 医 療	3億6600	3億6276		324
	介 護 保 険	18億7011	18億3182		3829
	簡 易 水 道 事 業	2億8412	2億6927		1485
	飲 料 水 供 給 施 設 事 業	3974	3392		582
	農 業 集 落 排 水 事 業	2億5547	2億4408		1139
	総 合 開 発 事 業	6647	407		6240
	分 収 育 林 事 業	9	8		1
病 院 事 業 会 計		4億3654	4億3644		10
合 計		168億6891	160億7992	1873	7億7026

平成28年度スローガン 「挑戦のまち神石高原町」

主な事業

学校給食費無償化



元気に給食を食べる、三和小学校の児童

2300万円

定住の促進が期待できる

町立体育館設備改修事業

町立体育館・旧油木中屋内体育施設



油木地区、シルトピアセンターの町立体育館

5597万円

災害時安全確保のための工事



改修された豊松小学校グラウンド

5162万円

安全確保と授業への影響を抑えた

豊松小学校校舎・グラウンド改修

畜産振興施設整備事業



神石地区堆肥センター

4051万円

堆肥の適正管理が容易になった

決算をチエック



総務課

財政運営は
(単年度収支)

今後は、各種投資的
事業などの計画を整理
する中で必要な財源確
保を行い健全財政を維
持したい。

木野山議員 単年度収

支が赤字の会計が3会
計あり、赤字合計額は
▲4347万円となっ
ている。

投票率の向上は

横山議員 投票率向
上の対策は。

赤字の原因と、財政
運営について今後の考
えを伺う。

総務課長 一般会計に
おける実質単年度収支
は、▲4億1000万

総務課長 広報誌や懸
垂幕、広報車で宣伝を
して周知に努めた。18
才からの投票が始まっ
たため、油木高校での
模擬投票をした。

円となり赤字状態が大
きい。これは政策的な

横山議員 選挙用送

財政調整基金の取り崩
しなど近年にない積極
的な予算編成を行った

迎バスの利用が少ない
が、今後はどうするの
か。

事による他会計への振
り替えが大きな要因で
あり、財政運営への影
響は発生しない。

総務課長 今後はふれ
あいタクシーを利用し
てもらおうよう検討して
いる。



地域の安全安心を担う消防団（平成29年度夏期大会）

消防団の運用体制は

赤木議員 台風など、

災害の発生が考えられる状況での消防団の運用体制は。

総務課長 消防団に対する連絡は団長から出ている。基本的には防災計画に沿って対応することになるが、運用の細かい点については

今後マニュアル化していきたい。

町有地の貸付は

久保田議員 町有地の

貸付で、使用料の有料と無料があるが、公平性に欠けるのでは。

総務課長 該当地の鑑定評価など行い算定している。

**消防団員の
出動手当ては**

林議員 火災出動

時、現場で危険な目に合う団員への出動手当ては。

また必要に応じて、評価委員会を開催し、評価の適正・公平性を確保している。

総務課長 火災や水害時の出動は、消防団として、対応しなければいけない行動の必須要件。他の市町では手当てを出している所もあるが、安全面の支援をして欲しいという意見が多く現状維持で対応したい。

まちづくり推進課

起業支援サポートは

横山議員 起業支援

サポート事業として4件の起業家に400万円の補助金が交付されているが、審査方法はまた、交付後の審査はないのか。

まちづくり推進課長 事業計画書、収支予算書などを提出して頂き、審査をした。5年間は決算書を提出して頂く事としている。

**かがやきネット
運営は**

木野山議員 基金管理

状態で判断すると、経費部分が収入を上回っており基金残高も3200万円余り減少している。大規模な機器の更新が必要と聞か、今後の運営方針は。

まちづくり推進課長

基金の活用、有利な起債など財源とし、ケーブルジョイと連携

しきちんと運営出来るような体制をとって行きたい。

**協働のまちづくり
団体支援事業は**

木野山議員 「NPO

法人支援交付金交付要綱」第9条に、「交付を受けたものは実績報告書を町長に提出しなければならない」とある。

・確認されたか
・目的外使用は無かったか
・どの様に監査されたか

まちづくり推進課長 NPO各団体から交付申請書、実績報告書を提出いただいたら

る。金額の大きい団体は実績報告書明細と次年度の予算的計画書を頂いている。

監査を、担当課はす

る事になっていない。補助金なので監査委員の監査は可能だが、未だ行われていない。

**芸術文化に触れる
教育を**

赤木議員 年1回町

内の小中学校それぞれでオーケストラの巡回演奏会が行われている。保護者や地域住民が参加してもよいのでは。

まちづくり推進課長

あくまでも小中学校の児童生徒が対象であり教育が目的なのでご理解いただきたい。

産業課

**ナマズの
6次産業化は**

横尾議員 ナマズの

6次産業化の推進をし

ているが、今後の油木
高校の方向性は。

産業課長 油木高校の
担当教諭が定年を迎え
るといふことで、ふ化
の技術の伝承をどうす
るかは今後の大きな課
題である。

福祉課

学童保育の利用は

横山議員 町外の子
どもは放課後児童クラ
ブを利用できないか。

福祉課長 この事業は、
放課後保護者不在の児
童の遊びと生活の場を
提供するもので、町内
の子どもを対象として
いる。

**町外生徒への
医療費支給は**

藤田議員 神石高原
子ども医療費支給制度

において町外の生徒を
対象にするのは行き過
ぎではないか。

福祉課長 町外の生徒
を含む油木高校生を対
象にしたのは、基本的
には油木高校支援施策
の一つとして考えてお
り、定住対策につなが
ることも期待し実施し
た。

保育料免除は

藤田議員 子育て世
代負担軽減策としての
第2子からの保育料免
除を第1子も対象に拡
充出来ないか。

福祉課長 平成28年度
から定住・人口減少対
策として実施した。第
2子第3子と出生数が
増加することを期待し
て、第2子以降の保育
料相当額を補助したも
のだ。

働けない理由は

横尾議員 生活保護
者の中に現役世代が4
世帯あるが、働けない
理由は。

福祉課長 主なものは
傷病によるもの。傷病
のない一世帯はハロー
ワークと連携して本人
に適した就職活動の支
援をしている。

環境衛生課

譲渡先確保の広報は

赤木議員 殺処分せ
口への取り組みとし
て、譲渡先確保の広報
は町としてどの程度
行ってきたのか。

環境衛生課長 NPO
法人とともに町内外で
譲渡会を行っている。
ただし町内においての
PRは十分であるとい
い難い。今後は周知に

努める。

保健課

**老人性うつ病への
対応は**

林議員 認知症に
似ている症状のうつ病
患者のうち、抗うつ薬
による適切な治療を受
けている人は5%に満
たず、治るといふ事に
気づいていない人も多
いが対応は。

保健課長 地域包括支
援センターでは、本人
や家族から相談して頂
いた事に対し、その方
の症状に応じた支援を
行っている。認知症が
老人性うつかの判断の
難しい場合は、町立病
院の物忘れ外来や専門
の医療機関を紹介した
り、こころの健康相
談、介護予防教室へ
誘っている。閉じこも



地域医療をになう看護師のみなさん

**政策医療交付金の
増加理由は**

藤田議員 町立病院
において指定管理者

り予防にもなるので、
周知活動を行ってい
る。

(陽正会) へ町から支
払う政策医療交付金が
毎年増加傾向にある
が、この状況をどのよ
うに捉えているか。
保健課長 へき地医
療・救急医療など、不
採算部分も多く担って
いる。平成28年度は訪

間りハビリティーション

開始、豊松地区の巡回

診療も始めた。介護予

防事業へもりハビリティ職

員に参加してもらって

いる。作業療法士も1

人増員している。

臨床数の見直しな

ど、指定管理者ととも

に経営改善を図ってい

く。

教育課

独自の発信は

赤木議員 定住促進

対策として給食費無償

などあるが、教育委員

会として他の市町に対

し独自の広報は行って

いないのか。

教育課長 教育委員会

独自での発信はしてな

い。まちづくり推進課

で一括して行っている。

情報発信は無理で

はないので柔軟な対応

を行っていききたい。

建設課

所得証明の
個人情報

久保田議員 町営住宅

入居の場合、連帯保証

人の所得証明は必要

か。個人情報漏洩につ

ながるのでは。

建設課長 公営住宅法

により、連帯保証人の

所得証明は必要であ

る。情報漏洩のないよ

う、封入しての提出も

可能である。



完成した町営小畠住宅

平成28年度決算意見書(抜粋)

代表監査委員 橋本 龍之

監査委員 橋本 輝久

平成28年度の予算編成は、「歳入に見合う歳出」を基本とし、持続可能なまちづくりの実現に向け取り組まれた。

少子高齢化と過疎化に対応した、安心で安全なまちづくりにむけ、健全な財政運営の中で「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実行を期待する。

実質公債費比率は、7・0%となり大幅に改善している。今後においても、より健全な財政運営を図ることを望む。

税・使用料等の収納率は高く、公平性の観点から高く評価できる。引き続き収入未済額の縮減に努められ、時効による不納欠損にならないことを望む。

決算審査で特に問題はないが、意見、要望を述べる。

- (1) 地籍調査
未完了地区の早期完了を望む。
- (2) 起業支援サポート
補助金交付は書類審査のみである。ヒアリング等審査会を経ることを望む。
- (3) 単独町費町道整備
平成27年度からの継続事業が全額減額補正されたことは、事業の計画性に欠け、対外的に不信を招く。
- (4) 可燃ごみ処理施設の見直し
早期に計画を取りまとめられたい。
- (5) 職員の健康管理と意識改革
健康管理に配慮し、意識を変革しリスクに対し対応できるような体制を整備するなど、内部統制機能の充実を図られたい。

9月補正予算

一般会計

補正予算額

3億7724万円

補正後予算額

105億3002万円

おもな補正事業

- ・神石高原チャレンジファンド運営事業

補正額 **3800万円**

基金運営の運営費補助など

- ・神石高原町総合開発事業

補正額 **315万円**

星の里いせきに続く第2定住団地を整備するための、地質調査や水質・土壌調査

- ・さんわ182ステーションリニューアル計画

補正額 **5000万円**

リニューアル実施設計業務… 1000万円
遊具整備工事…………… 4000万円

- ・地域参加型映画制作事業

補正額 **600万円**

映画制作事業委託料

- ・新規就農者支援事業

補正額 **1902万円**

トマト模擬経営施設基盤造成工事など

- ・町道維持補修経費

補正額 **4032万円**

ライフライン確保のための道路修繕

- ・政策医療交付金

補正額 **1209万円**

不採算となる医療の提供に要する経費

補正予算質疑

政策企画課

チャレンジファンド 運営事業は

木野山議員 ファンド

事業を展開するチャレンジ基金は公益財団法人であり、運営経費は町の補助金に頼らざるを得ない。融資財源となる町貸付金、民間寄付金は、人件費を含む運営経費には充当できないのでは。

政策企画課長 参事を筆頭に事務局体制を整え、民間からの支援資金を募り営業経費を捻出したい。

木野山議員 専門家への報酬負担義務も生じ、運営面で厳しくなるが、将来的に責任は誰が負うのか。

政策企画課長 寄付金が必要ならば町からの補助が必要となる。最終

的には神石高原町が責任を持つ。

橋本議員 基金運営財団への運営費補助の

主な内訳は。

政策企画課長 財団設立を9月末としてい。以降に財団の事務局や案件を審査する各委員などの経費として約半年分の500万円を計上した。

橋本議員 財団の構

成員の評議員や理事、

監事は無報酬か。

政策企画課長 評議員、理事、監事の費用弁償を考えている。

橋本議員 事務所の

所在はどこになるのか。

政策企画課長 当面、

本庁内に事務所を置く。委託先とは電子メールのやりとりで事務を行うが、必要に応じて登庁する。

久保田議員 チャレン

ジ基金の融資は無担保で無利息であり、融資が焦げ付いた場合の責任はどこに。

政策企画課長 責任は

理事会にあり、最終的

には町である。

久保田議員 財団に2

億円出すと、理事会が

投資先を決定する。

チェック機能がない。

議会で監査ができない

か。

政策企画課長 監事は

東京の税理士を想定し

ている。議会へはその

都度報告する。

久保田議員 事務局の

人件費はいくらか。

政策企画課長 年間4

80万円だ。

まちづくり推進課

映画制作は

林議員 映画の主

役がまだ決まらないの

に、制作委託費600

補正予算質疑



さんわ道の駅ステーションに隣接した公園の遊具は、老朽化が進んでいる。

万円を9月補正で計上する理由と内訳は。まちづくり推進課長 制作会社から見積もりが来た。スタッフの宿泊費や、車のレンタル費、その他ロケの諸経費だ。

産業課

道の駅リニューアルは

木野山議員 リニューアルの具体案を提示しないまま設計委託は納得がいかない。

産業課長 まだ企画段階で、内部で検討中。具体的構想は出来次第、提示したい。

木野山議員 滞在型に

リニューアルとは、何が狙いか。

産業課長 滞在型とは、神石高原町で一日中滞在して頂くというコンセプトだ。

林議員 遊具の整備

備工事で4千万円とあるが、プロポーザルの提案項目にジップ・ライン（ロープウェイ型遊具）の導入は入っていないか。

副町長 長い距離のもの、専門的知識を持ったスタッフを配置しなければいけない。子供用の短い距離のものには設置できるかもしれない。道の駅以外の場所での設置も検討したい。

久保田議員 182ス

テーションのコーディネーターの勤務内容は、

産業課長 道の駅のリニューアルを計画しており、その対応のため、週4日の勤務で、

給料は町が182ステーションを通して出している。

環境衛生課

し尿処理場の修理計画は

赤木議員 施設の改

修は計画して行うべきものではないか。なぜ補正で上がるのか。

副町長 合併特例債が使える事業を見直した結果を含め、早めの対応が必要と判断して今回の補正で計上した。

保健課

政策医療交付金の対象は

久保田議員 政策医療

交付金は、救急、人工透析、へき地医療のほか外来診療も対象か。保健課長 病院業務全て対象である。

平成29年神石高原町議会 補正予算採決結果

●…反対 ○…賛成 欠…欠席

議案名	寄定	藤田	木野山	小川清治	久保田	橋本	横尾	横山	赤木	林	小川善久	松本	賛成票	反対票
一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		10	0
国民健康保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		10	0
後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		10	0
介護保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		10	0
簡易水道事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		10	0
飲料水供給施設事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		10	0
農業集落排水事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		10	0
病院事業特別会計	○	○	○	○	●	○	●	○	欠	○	○		8	2

※議長は採決に欠席

条例制定・改正 こんなことが

決まったよ

全会一致

条例の一部改正

・神石高原町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例
初動体制の確立のため、OB団員を活用した機能別団員制度の導入

- ・団員歴15年以上
- ・任期は2年
- ・退職金はなし

他2件

全会一致

条例の制定

・神石高原町小規模企業等振興基本条例
地域経済の活性化と、町民の生活向上のため

全会一致

工事請負契約の締結

工事名 安田上地区水道管布設工事
請負金額 1億2960万円
請負者 安田工業(株)
工期 平成30年3月9日まで

工事名 油木地区簡易水道市場配水管布設替工事
請負金額 6112万円
請負者 村上建設(株)
工期 平成30年3月16日まで

全会一致

人権擁護委員の候補者の推薦

氏名 山口ヒロ子さん（再任）
住所 神石高原町阿下

全会一致

財産の取得

種別 29人乗りバス 1台
取得価格 882万円
相手方 (有)神石モーターズ

種別 普通四輪小型動力ポンプ積載車 2台
取得価格 1896万円
相手方 (有)神石ミニカー商会

種別 堆肥運搬用ダンプ 1台
取得価格 682万円
相手方 (有)神石ミニカー商会

種別 小中学校用通学バス 1台
取得価格 885万円
相手方 (有)神石モーターズ

全会一致

財産の無償貸付

物品名 細断型ホールクロップ収穫機
取得金額 1034万円
貸付先 農事組合法人 神石高原有機農業を進める会
貸付期間 平成29年10月1日～平成34年3月31日

議員発議 概要

森林環境税（仮称）の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書

市町村が持続的に森林整備を行うことができるよう森林環境税（仮称）を早急に創設するとともに下記の項目を実現するよう強く要望する。

1. 各県を中心に独自に課税している森林環境税等との関係の調整を図ること。
2. 実現までの間においても、必要な施策を推進するための予算を十分に確保すること。
3. 新たな森林の管理・経営スキームを検討すること。
4. 国産材の需要の創出・拡大策を並行して推進していくこと。

提出者 神石高原町議会議員 奇定 秀幸
賛成者 神石高原町議会議員 藤田 晃己

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

地方自治体が計画的に教育行政を進めることができようにするために、次の措置を講じられるよう強く要請します。

1. 計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

提出者 神石高原町議会議員 赤木 俊二
賛成者 神石高原町議会議員 小川 善久

質疑の一部を
要約して
お伝えします

質問時間は、答弁を合わせて
一人一時間以内で一問一答方式

問 国保税値上げ対策は

答 激変緩和措置で対応



横山 素子 議員

Q 国民健康保険税が
来年4月から県内
統一の保険料となる。
被保険者の保険料が
値上げになるが町の考
えは。

A 町長 持続可能な
医療保健制度の基
盤を強化するための県
単位化だ。国は340
0億円の財政支援をす
る事になっている。
被保険者の負担が増
える事は理解してい
る。急激な増加となら
ないように6年間の激

変緩和措置を行うよう
広島県内で協議を進め
ている。

Q 町独自の支援は考
えられないか。

A 町長 町独自の財
源投入もあり得る
が、激変緩和後の保険
料率がどの程度上昇す
るのか、動向を見なが
ら検討する。

Q 被保険者への説明
は。

A 町長 本町の国保
運営協議会を開催
し説明をした。

広島県との協議は現
在も進行中で、広報が
良いのか説明会が良い
のか検討したい。

小児科医療体制の 構築は

Q 小児科医療体制の
構築と病児預かり

制度の進捗状況は。

A 町長 「すこやか
家族支援プロジェクト
会議」で、小児科
医師を中心に、助産
師・保健師・精神保健
福祉士などの専門家と
福祉課・保健課・教育
課とで検討している。
具体的にはまだ何も決
まっていない。

また、病児預かり制
度については、どのよ
うな仕組みで病児・病
後児保育を子育て世代
に提供できるか検討を
始めたところだ。

楽天との包括協定 のメリットは

Q 町は楽天との包括
協定の一つである
「農業連携協定」に関
する個別協定」を結ん
だ。メリットは何か。

本町の農業がどう変
わっていくのか。



元気いっぱい運動会 (いずみ保育所)

A 町長 農業の新規
就農者支援や農業
継承支援などで、農業
を活性化し、経済及び
地域社会の発展に繋が
ると期待している。

なった農地を有効活用
する事で、農地の荒廃
化防止ができる。ま
た、地域にとっても就
農された若者の定住に
繋がれば、その地域の
活性化に繋がる。メ
リットは大きいと考え
る。

問 エブリイとの協議の結果は

答 農産物の受け入れは合意し、細部を検討中



横尾 正文 議員

Q 先日行われたエブリイとの協議の結果は。また集荷者協議会での説明に対して出荷者の反応は。

A 町長 まるごとの野菜をエブリイの店舗で販売する。

従業員の使用や、石専用コーナーも検討するという内容で協議を行った。

8月31日に集荷者協議会役員に、また9月7日に町内4か所でお荷者に説明会を行っ

た。実務的な要望事項はあったが、好意的な印象だった。
10月初旬にエブリイとの準備委員会を立ち上げ、出荷者の要望事項について調整する。

町立病院の赤字補てん

Q 指定管理者が掲げている病院事業計画は理想だが実態は逆だ。病院の赤字額が膨らんでいる要因と対策は。

A 町長 一番の原因は、患者の減少による医療収益の減少である。今後は、人気と

いった視点も含め、運営理念である「地域の皆様に愛され信頼される、地域に開かれた病院の構築」を目指して努力するよう強く指定管理者へ

要望していく。

Q 赤字が膨らみ政策医療交付金が増える一方で、財源となる地方交付税を越えようとしている。どこまで赤字補てんをするつもりか。

A 町長 平成28年度地方交付税は、約2億2299万円に対して、政策医療交付金は2億2109万円であった。

政策医療交付金は、地方交付税などを積み立てている約16億円の基金で平成44年までは対応できるものと推計している。

Q 協定書の内容が2期目では「政策医療交付金の提供に係る経費を、地方交付税圏内で負担する」が

「予算の範囲で交付する」と変更されている。見解は。

政策医療交付金は無制限ではない。しっかりと指定管理者と協議していく。

A 町長 政策医療交付金の指標としては地方交付税の範囲内と考えるが、本年度は地方交付税を越えると

予測される。



エブリイの農産物販売コーナー

その他の質問

楽天との包括協定



久保田 龍泉 議員

問 相渡地区の犬舎への対応は

答 適切な処理を指導する

Q 犬の収容所ができているが何頭収容しているか。

A 町長 現在、960頭収容している。

Q 新たに2棟建設しているが、これが完成すると1500頭収容になる。狂犬病予防注射は毎年受ける必要があるか。

A 全頭注射してある。現場での確認は。環境衛生課長 予防接種完了報告を随時受けつけており、

Q 現場では悪臭がする。糞尿を適正に処理していないからだ。

A 糞尿処理の確認と指導は。環境衛生課長 現在人間用の浄化槽で処理を実施している。

Q 人間用の浄化槽では尿しか流せない。中に犬の毛が混じり十分に浄化しない。ふんは新聞紙に包みごみ処理しているようだが、きれいにとっていないから臭いがする。犬用の浄化槽を設置するよう指導すべきだ。

A 先日、3頭脱走したが幸い人的被害がなかった。管理はどうしているか。

A 環境衛生課長 内カギになっておりそれを開けて脱走した。外力ギにするよう指導した。

Q 土地は(株)帝釈峡スコーラが仲介し「ピースワンコ」に賃貸しているが、無制限に増やすのか。

A 環境衛生課長 無制限でなく、その都度地元を含め協議している。反対の声があれば増えることはない。

Q このNPO団体は、活動資金を寄付で賄っている。将来資金がショートした場合、町が後始末するこ

Q 土地は(株)帝釈峡スコーラが仲介し「ピースワンコ」に賃貸しているが、無制限に増やすのか。

A 環境衛生課長 無制限でなく、その都度地元を含め協議している。反対の声があれば増えることはない。

Q このNPO団体は、活動資金を寄付で賄っている。将来資金がショートした場合、町が後始末するこ

A 町長 経費を寄付で賄っているのは事実で、資金ショートした場合を考え相手と話をしたい。町内に候補地があれば斡旋したい。



スコーラ高原に出来た犬舎

安全で安心して暮らせる まちづくりは

答 順次対応計画を作成



小川 清治 議員

A 町長 建物補強や
法面保護の対策工
事で避難所として活用
できるが、財政負担な
ど考慮し対策工事の実
現性を検討する。当面
は他の避難所を活用し

Q 来見小学校区で
は、時安文化セン
ターと坂瀬川区民会館
が、土砂災害防止法に
より、土石流及び地滑
り時の避難施設から除
外された。他の避難施
設でも同様のことが予
測される。今後の対策
は。

ていただく。

Q 命にかかわる事で
ある。避難施設と
して活用出来る方法を
早急に検討し、年次ご
とに対応計画を作成し
実施すべきだ。

A 総務課長 順次、
対応計画を作成出
来るよう検討する。

里守り犬の執行状況は

Q 里守り犬事業が始
まった。現在の事
業執行状況は。

A 町長 ガイドライ
ンを制定し運用を
開始した。各地区の自
治会支部会議で説明
し、その後4組（犬と
セット）の申し込みが
あった。今後適性検
査、10月に入校式、
ピースワンコジャパン
での訓練を予定。

Q 里守り犬事業42
6万円の財源は。
追いはらいの対象獣
は。担当課は。

A 環境衛生課長 財
源は、ふるさと納
税の5%手数料。対象
獣は、イノシシ・サル
など。
保護犬の譲渡目的も
あり、訓練が終わり追
い払い開始から産業課
に引き継ぐ。

Q 追い払い活動開始
までの育成期間
は。
事業予算はいくら
か。

A 環境衛生課長 飼
主と犬がセットで
3年間、年間400万
円で毎年新規の里守り
犬を育成する。

Q 効果として、里守
り犬の有効性は立
証出来ているのか。ま
た、科学的データはあ
るのか。

A 環境衛生課長 奈
良県と和歌山県に
またがる宇陀・名張地
域鳥獣害防止広域対策
協議会において実践さ
れている。

Q 地域にあった方法
で里守り犬を導入
することで、より多く
の地域で里守り犬事業

が展開され事業効果が
期待される。
犬が人の役に立つ大
切なパートナーだとい
う認識を広め、過疎地
で犬と人が助け合い、
活力あふれる地域社会
の構築を願う。



避難施設から除外された坂瀬川区民会館



木野山 孝志 議員

学力テストの活用は

答 課題を分析し学力向上に努める

Q ①本年4月実施の全国学力・学習状況調査結果はどうだったか。

②平成26年度と平成28年度実施の学力テストにより判明した課題への取組みとその結果。
③本年度調査結果における課題とその対策。

A 教育長 ①小学校においては、※算数Aが県平均を下回った。その他は、全国、県平均を上回っている。特に※国語Bは、全国・県平均を大きく

上回っている。

中学校の、国語A、Bは全国・県平均を上回ったが、数学については、A、Bともに全国・県平均を下回っている。

②今年度中学3年生は、小学6年生時にも算数の力に課題があった。

学習内容の難易度が上がっており、中学生においても丁寧な指導が実施されている。

平成28年度と比較すると、国語では読み取る力、算数・数学においては理論的証明力、図形の活用など多くの課題が見られた。

③活用力が徐々に身につくとき、指導の成果が出ている。

数学的な見方・考え方を明確にする研究と指導の工夫により、小学校入学時から丁寧な指導することが重要である。

Q 小学生は国語、算数A、Bともに全国でも高いレベルにいる。中学生の国語については全国・県平均を上回るが、数学において課題が多く、小学6年生時の課題が克服されていない。

分析が必要だ。

A 教育長 テストでの解決に力点をおいている。基礎的な力が付いていないと中学校3年間でその力を回復することは難しい。

小学1年生から学年ごとに課題を分析し、学力の定着に繋がらない。また各学校とも課題が違うので集約し、併せて指導したい。

重要で学力向上にも繋がると思う。どこが弱点か分析しようにも基礎的なデータがないと探れない。

Q 学力テストの公表は自治体や学校間の競争を促し、見直せとの意見もあり賛否両論だ。

私は、競い合う事は



神石高原中学校で行われた「学び合い」を取り入れた国語の公開授業

A 教育長 小中学校の子供たちが健やかに成長するよう頑張りたい。

※A問題…

知識の理解力

※B問題…

知識の活用力

問 公共施設などの老朽化対策は

答 国土強靱化地域計画策定を検討



寄定 秀幸 議員

Q 公共施設を含むインフラ（社会資本）は、高度経済成長期に整備されたものがほとんどで、老朽化や耐震強度不足に伴い、長寿命化や改修、更新の時期を迎えている。計画的なメンテナンスの実施で公共サービスの維持と将来への備えをすべきだ。公共施設などの老朽化対策への基本構想と対策は。

A 町長 今後、厳しい財政運営が見込まれ、老朽化の進む全ての公共施設などを維持・更新することは困難な状況にある。

適切な規模やあり方を検討するため、平成29年3月に「神石高原町公共施設等総合管理計画」を作成した。

この計画を公共施設などの維持管理にかかわる指針とし、さらに具体的なものとするために各施設の個別計画を策定し対応する。

本町が有する公共施設は、699施設あり、公共施設の約3割以上が建築後30年を経過しており、多くの施設が耐用年数を迎え、今後、20年間に大規模改修や建て替えなどが集中することが予測される。全ての施設を改修し、建て替えを行うことは、財政的に不可能である。

人口減少など少子高齢化が進行する中で、施設の利用実態や多様化するニーズに応じた施設活用のあり方を検証する必要がある。

今後10年間で、現在の施設数を5%削減する目標を設定した。各施設の個別計画を策定し、継続使用、廃止、解体などの検討を財政推計と併せて行っていくたい。

Q 大規模自然災害の被害を最小限にとどめ、町民の生命・財産を守るため、防災・減災という観点から、「国土強靱化地域計画」を策定し、インフラの老朽化対策を計画的に実施すべきでは。

A 町長 国土強靱化地域計画は、他の計画の指針となるべき重要な計画である。他の計画との整合性やリスクの検討、目標



昭和54年稼働の神石郡し尿処理場

の明確化、課題対応の重点化や優先順位など多くの調整事項を伴うものである。国・県の計画や先進

自治体の計画などの情報収集を行い、策定に向けて検討していきたい。



林 憲志 議員

問 バス路線廃止区間に 連携バスを運行せよ

答 タクシー運賃補助の活用を

Q 一呉ヶ峠～上下行、高蓋～上下行の民営バス路線廃止で、ふれあいタクシー利用でも運賃が2～3倍高くなる。

代替交通手段に近隣市町との連携バスを運行せよ。

A 町長 今後は、タクシー運賃補助である「町外医療機関通院者支援制度」を利用していただきたい。路線バスと比較すると利用者負担が高くなるが、例えば、タク

シーを複数で乗り合わせて利用するなど、利用者側の工夫で負担が少なくなると考えている。

抜本的な解決にはならないが、地域的な課題として、今後、検討を行う。

ケーブルテレビの活用は

Q 町政の広報機関として、※マルチメディアで高い影響力のあるケーブルテレビの番組を通して、町の政策をもっと積極的に発信するべきでは。

また視聴者の投稿ビデオを採用したらどうか。

A 町長 ケーブルテレビの告知（文字データ放送）については、より見やすいように構成を変更するため、9月議会の補正予算に必要経費を計上し

ている。番組については、この9月で町民にアンケートを行い、意見を参考にしながら番組構成へ反映させたいと考えている。

森林セラピー事業

Q ガイドの報酬は、通常4千円だがイベント時には3千円になっている。安い報酬では有能なガイドが育たない。真面目な人は1回のガイドにも下見を必ず行う。どう思うか。

A まちづくり推進課長 実質のガイドの案内時間は2時間か3時間だ。観光協会と協議をしてみるが、ガイドと事務局の合意が得られる形で進めていきたい。

その他の質問

神龍湖のアオコの現状と対策、今後の帝釈峡振興について。

※マルチメディアとは文字、映像・音声・音楽・写真など複数の媒体を組み合わせた総合的な広報媒体。



廃止となった呉ヶ峠～上下線の路線バス

問 工程延長は出来ない 対応は

答 専門知識を持った業者を活用する



赤木 俊二 議員

Q 建設資材や労務費の高騰により近隣自治体で庁舎建設の入札の不落が相次ぎ、建設工程が伸びている事例がある。
わが町は合併特例債の期限付きの庁舎建設であり、今の建設工程の延長はできない。どのような対応を行っているか。

A 町長 資材や労務費が高騰していることは承知している。無理のない工期、適正な価格設定で不測の事態に陥らないように努

めていく。

Q 今回の入札で不落となった場合の対応は考えているのか。

A 政策企画課長 不落が出た場合は、再度期間と価格を見直して早急に業者の選定を行う。

Q 不落になった近隣市町では再入札にそれなりの期間がかかっている。本当に間に合うのか。

A 政策企画課長 現在では標準設計期間を1年間取っており、現状で言えば間に合うのであろうと思われる。

Q 工程的に余裕があるのであれば、建築の工程の余裕を取るほうが良いのではないか。

A 政策企画課長 専門業者がプロポーザルの段階からかわり、建設を進めていくため不落となることは

考え難い。また工程も可能な限り前倒しをしを行う。

Q 不測の事態に陥らないよう努めるとあるが、具体的にはどうするつもりか。

A 政策企画課長 適正な価格、工期を守っていききたい。

Q 本当にそれが適正かどうかを確認する体制が必要ではないか。

A 政策企画課長 工事を目的通り達成させるために工程・金額・業者間のすり合わせなどの総合的な管理をする専門的な知識を持った業者を積極的に活用する。

Q 建設工事で地元にお金が落ちるようにしているのか。

A 政策企画課長 町内でお金が回るような体制を作りたいと考えている。

ごみ処理の方向性

Q ※RDFを使った福山リサイクル発電事業は5年後には終了する。

A 町長 リサイクル発電事業終了後の平成36年度以降における、ごみ処理体制について。

いて広域処理も含めて検討をしている状況である。今までの経緯を踏まえて福山市を中心とした広域処理が望ましいと考える。

その他の質問

し尿処理の方向性

※RDF II
廃棄物固形燃料



福山リサイクル発電に運搬されるRDF

追跡

ありやあどうなったん？

空き家を「お試し住宅」に改修

空き家バンクの相談を受ける中で、都市部の人が、神石高原町で田舎暮らしが体験できる宿はないかとの声が多くありました。

NPO法人を通し、草木地区の空家を田舎体験お試し住宅として都市住民に紹介していただきます。また、農業などの研修生の仮の宿としての活用も目的としています。

今後は2階をもう少し改修し、PRしていきます。10月中旬には農業研修生が入る予定です。1日1,500円（1人）から宿泊できます。



「お試し住宅」として改修された民家（草木地区）

まちの声

○今年のタクシー券について東城方面に出かけるのに大変困っています。何か良い方法を見つけて下さい。

(94才 女性)

◎本年度は試験的運行を行っています。広く皆様の声を聞き来年度に向け使いやすいうちに検討します。

○人口減少の昨今、庁舎の新築、病院の新築と大変なのはわかります。頑張ってください。

(93才 男性)

◎利用しやすい施設になるよう、提案しています。

○みんなの町議会を毎号楽しみにしています。

(49才 男性)

◎ありがとうございます。今後も分かりやすい誌面作りに頑張ります。

○最近野良犬は見かけなくなりましたが、猫がたくさん増えていきます。

ドアを開けていると入ってくるので、風通しもできません。

猫を飼う人も犬と同様、野良猫にしないように責任を持って飼って欲しいです。

(62才 女性)

◎自治振興会と連携をとって猫の飼い方も指導を行うようにしましょうと思います。

議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。

クイズの答え

- ① 映画
- ② 産直
- ③ 選果場

第33回議会クイズ当選者

油木地区

横山 富代さん

おめでとうございます。

こんな活動しています

活動
報告

総務文教常任委員会

調査内容

- ① 日本一の子育て村構想とA級グルメ構想の取り組み（島根県邑南町）
- ② ビジネスプランコンテストの取り組み（島根県江津市）

委員長

横尾 正文

副委員長

木野山孝志

委員

松本 彰夫 赤木 俊二
林 憲志 小川 善久

調査日時

平成29年7月24日～25日

調査結果

- ① 日本一の子育て構想とA級グルメ構想の取り組みによって、平成25年より社会動態による人口の増加が始まっている。
- ② 20代・30代の女性の4割が「ターナー者」になっている。
「ビジネスプランコンテスト」を契機に商店街の活性化や、空き店舗の活用が増加するなど、今までになかったビジネスが発生している。

まとめ

- ① 安定供給ができて初めてA級グルメになるので、地産地消を考えてはどうか。
- ② 起業にはいろいろな分野の支援が必要なので、支援体制を確立すること。



ビジネスプランコンテストについて討議する委員

活動報告

産業建設常任委員会

調査内容

- ① 鳥獣肉資源利活用の取り組み
(島根県美郷町)
- ② 荒廃地防止の取り組み
(島根県奥出雲町)

委員長

久保田龍泉

副委員長

小川 清治

委員

寄定 秀幸 藤田 晃己
橋本 輝久 横山 素子

調査日時

平成29年8月3日～4日

調査結果

①本町でも年間1000頭ものイノシシが捕獲されているので詳細な調査が必要である。

②奥出雲町は横田そばの産地として生産、販売、消費までの大産地となった。休耕田や畑地などで栽培でき、作付けから収穫まであまり手のかからない作物であり、荒廃地防止の作物の一つとして考えられる。



鳥獣肉資源利活用の説明を聞く委員

活動報告

広報常任委員会

「みんなの町議会」内容充実に向けて

委員長

赤木 俊二

副委員長

横山 素子

委員

木野山孝志 林 憲志
小川 善久

調査日時

平成29年7月18日(火)

調査場所

高知県高岡郡越知町

調査結果

越知町議会広報委員から編集方針や作り方の説明を受け意見交換を行った。

余白の使い方や、編集のペーパーレス化などの取り組みがあり、わが町の広報誌をさらに読みやすくするため有用であり活用を検討する。



越知町議会広報委員と意見交換する委員

元気なグループ紹介だよ



豊松地区
あまたがわ
天田川一座

あまたがわ
天田川一座は、昨年1月に歌や踊りが好きな者で立ちあげたボランティア組織で現在20名で活動しています。

「歌と踊りで元気に！」をテーマに私たちが楽しんで歌ったり踊ったりする姿を見ていただき、一緒に笑って喜んでもらえたら益々元気になるメンバーです。

歌と踊りのジャンルは問わずにやっています。結成時からレパートリーも増え、歌謡曲から民謡まで約20曲、踊りも幅広く約15演目程あります。

練習も楽しく笑い声が絶えない元気な一座です。これからも福祉施設や地域のイベント等へ行かせてもらい「また来てえよ！」とってもらえたら最高です！



第34回 議会クイズ

《クイズ》空欄に適切な言葉をいれてください。

1. P3

8年 ●●改善

2. P11

国保税 ●●●対策は

3. P19

空き家を「お試し●●」に改修

《ヒント》議会広報をよく読んでね。

《応募方法》

ハガキに「答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

《あて先》

〒720-1522

神石高原町小島二〇二五番地

神石高原町議会事務局

「第34回議会クイズ係宛」

《締め切り》

11月13日（月）消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は12月です

表紙の紹介



三世代で和牛生産を営む前原さん一家（油木地区）

編集後記

夏も終わり、あつと言う間に10月。ツバメも南方に旅立ちました。

9月定例会は平成28年度事業の決算と、補正予算の審議などが行われ、各々議員がそれぞれの疑問を執行部に投げかけました。チャレンジファンドなど積極的な挑戦が目立つ一方、国保の値上げなど、自営業や生活弱者の家計を直撃し格差の増大を懸念する声もあります。

議会と執行部は車の両輪。間合いを保ち、住民の側に立ち、住民に愛される議会であるべく、施策をチェックや提案して参ります。是非、議会を傍聴し、生の審議をご体感下さい。

(林)

議会広報常任委員会

- 委員長 赤木 俊二
- 副委員長 横山 素子
- 委員 木野山 孝志
- 委員 林 憲志
- 委員 小川 善久